

令和4年度 マリア学院高槻マリアインマクラダ幼稚園 自己評価

1.本園の教育目標

- ・神様とまわりの人たちから愛されていることに気付く。(宗教教育)
- ・幼稚園生活での体験を通して、自分らしく生きる力を養い、自分自身を好きになる。(モンテッソーリ教育)
- ・神様とまわりの人たちを愛する子どもになっていく。(平和教育)

2.本年度年間目標

- ・神様と人を愛し、また自分を愛し、互いに認め合い、祈り合いながら過ごす。
- ・意識しながら体を使い、よく考え工夫して自分の力を発揮していく。
- ・友だちとのつながりの中で、共に協力しながら、互いに思いやりを大切にして、豊かにのびのびと育ち合う。

3.本年度重点的に取り組む目標や計画

- ・教師ひとりひとりがモンテッソーリ教育への学びを深め、自分自身を整えながら、子どもの育ちを援助する。
- ・日々子どもを中心に添え、互いに祈り合いながら過ごし、生きていく喜びに導く。
- ・防災、防犯対策の再度確認、共通意識を高める。
- ・感染症対策を徹底して行ない、安心して過ごせる環境を整えながら、対策への意識を高めていく。

4.評価項目の達成および取り組み状況

教育目標	<ul style="list-style-type: none">・神様やまわりの人たちから愛されている喜びを感じ、自分自身や周りの人々、遠い国の人々のことを大切にすることで、平和の心が育つよう過ごした。・モンテッソーリ教育を通して、自分の力を存分に使いながら、自立へ向かう援助ができるよう、観察環境の整備に努めた。
指導の重点	<ul style="list-style-type: none">・子どもの活動に尊敬を持って関わり、自ら成長していく子どもの歩みに同伴してきた。成長に対して共通理解を深め、必要な援助が的確にできるように努めた。・一人一人の育ちに対応できる環境づくりに心を尽くし、教師自身が心を整える努力をしてきた。
特別支援教育	<ul style="list-style-type: none">・特別支援を必要とする子どもの状態を把握し、スクールカウンセラー、又、関係機関との連携をとりながら指導にあたった。
教育環境整備	<ul style="list-style-type: none">・子どもの自立を援助する環境づくりを心掛け、それぞれの育ちに沿った環境となるように見直している。・教師が一番の良い人的環境となれるよう、感謝と喜びを持って保育し、心を整える努力をしている。
保健管理	<ul style="list-style-type: none">・子どもの健康状態を職員全体で共通に把握できるよう、健康状態の記録や、保健対応記録などを通して、連絡、報告、経過打診を行い、適切に対応してきた。・園医の指示をあおぎながら、子どもたちの状態にあった対応ができるよう努め、必要な情報を提案しながら、家庭との連携を密にとった。

安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・施設設備の点検を定期的に行っている。また、改善点や計画についてよく検討し、より安全な施設設備を目指す。 ・防災訓練を定期的を実施し、一人一人が防災、防犯に対する意識を一人一人が高めることができるように伝えた。 ・感染症対策を徹底して行い、地域の情報を確認しながら、環境の整備に努める。
経営組織	<ul style="list-style-type: none"> ・財務面においては堅実な運営方法を取り、組織性において、教職員の個性を尊重しつつ、互いの成長を目指している。
研究研修	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に研修会に参加している。研修の報告をもとに分ち合い、保育に活かせるように学び合っている。 ・職員間に分ち合いを通して、自身も神様から愛されていることを感じ、共に歩める喜びを分かち合っている。
学校間交流	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校への接続が円滑に行われるよう、情報提供の充実を図る。 ・小学校との連携を図るため、小学生の集いを通して卒園後の子どもの様子を見る機会を持つ。
家庭地域社会	<ul style="list-style-type: none"> ・園に関わる地域の方々の働きを知り、子どもたちが感謝を持ってすごせるよう分かち合っている。
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・子育ての相談や情報の共有の場として、未就園児クラス(たねのおうち、トゥインクルスター)、おやこ集いの広場、(puka puka mama、モンテママ等)園庭開放の充実をはかり、保護者間の交流の場作りを力を入れている。 ・預かり保育を通して、保護者の就労や育児の手助けにより、親子ともに安心した生活が送れるよう協力を努める。 ・臨床心理士による子育ての相談の場を設け、育児への提案、提言、必要な援助を行っている。

5. 今後取り組むべき課題

教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの生活全体をよく観察し、成長の歩みや援助の仕方に共通の理解・意識を深め、客観的・総合的に見守る。 ・教師一人一人が客観性を持って、自分自身と向き合い、自己の課題に気づき、自分を整える努力をしていく。
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援の環境を整え、充実したものとなるよう努力していく。 ・臨床心理士による、子育て相談やカウンセリングの場の充実を図る。
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・事故防止のため、施設設備の更なる見直し、点検をする。 ・子どもが自然災害などに対する正しい知識を持ち、災害時の行動の仕方がわかるよう教師が意識して伝えていく。 ・感染症に対する更なる対策を講じ、普段の生活の中での習慣づけを徹底していく。

6. 学校関係者の評価

保育内容評価について学校関係者評価委員 8名の意見を集約

- ・教育理念(基本理念、教育基準、教育共同体)に基づいた子どもの教育、取り組み、子育て支援があり、子どもの成長に大きな役割を果たしている。
- ・モンテッソーリ教育を通して、子どもが自ら考え、発言し、実行するという自主性が育ち、互いに認め合いながら、子どもたち同士で育ち合う環境が整えられている。
- ・コロナ禍で行動が制限される中、人とのつながりが薄れていると感じ、寂しい面もあるが、その中でも安全対策をしっかりと考慮しながら、行事を減らすことなく行ったことに高い評価を得た。
- ・ステラレーチェでの子どもの姿を通して、子どもの内にある神様との自然なつながりを感じる事ができた。また、御言葉が日常生活のあらゆる場面で、子どもたちの中に深く根付き、互いに愛し合い、許し合いながら過ごしていることがわかった。
- ・園庭開放・モンテママの実施により、子育ての悩みや困っていることを相談できる場があった。また、しらゆり会の集いを通して、保護者同士のつながりが卒園後もあり、互いに相談し合える場があることで、信頼感と安心感が持てた。

7. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。